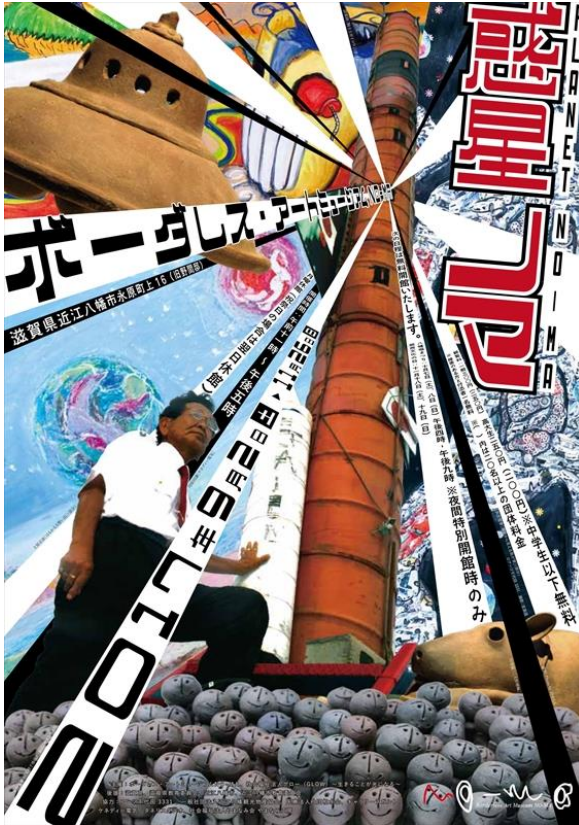


空想科学的発想の跳躍力で独自の表現をする6名を紹介!!

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA 企画展

惑星ノマ——PLANET NO-MA



空飛ぶ車にロボット、宇宙旅行・・・かつて人々が空想した遙か先の未来は、日進月歩の科学技術の発展により、ドローンやAI、VRといった形で着実に形になりつつあり、そう遠くない現実世界として私たちを迎えようとしています。しかし、実際の科学が生まれる前には、かならず誰かのエキセントリック且つロマンティックな閃きがあるはず。そして、この閃きを生み出してきたのは、宇宙冒険譚や平行世界、時空間移動など、サイエンス・フィクションの世界で繰り広げられてきた、夢に満ちた「空想科学」ではないでしょうか。

本展では、火星に届くほどの空想科学的発想の跳躍力で、独自の航路に舵をとる、6名の表現者たちを紹介します。

未知なる「惑星ノマ」との遭遇をお楽しみください。

【展覧会の見どころ】

- ・「空想科学」をテーマにした6名の作者を紹介。
- ・ライブや講演、ナイトツアーなどの関連イベントでより深く惑星ノマを体感。
- ・会期中毎週水曜日に小学生向けのワークショップを開催。

会期:2017年9月2日(土)~11月26日(日)

会場:ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

アール・ブリュット(仏: Art Brut)

「生の芸術」という意味のフランス語。Artは芸術、Brutはワインなどが生(き)のままである様子を表す。正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、既存のモードに影響を受けていない絵画や造形などを指す。

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部 (ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)

担当: 山田・渡邊・鈴木 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2

TEL: 0748-46-8100 FAX: 0748-46-8228 MAIL: kikaku@glow.or.jp

出展者紹介 (広報用画像)
大原 菜穂子 Ohara Naoko

(1971年生まれ／滋賀県在住)

大原は「菜穂子地蔵」と多くの人から呼ばれる造形物を、一日に2、30体のペースで生み出す。基本的には同じ表情、形状で永遠的に増幅している。古来から日本人の営みと隣接して存在してきた「お地蔵さま」と確かに重ねたくなるような、普遍的な佇まいがある。



「菜穂子地蔵」 ①

川埜 龍三 Kawano Ryuzo

(1976年生まれ／岡山県在住)

川埜は、二つの世界を行き来しながら活動をしている。現実の世界と架空の世界。犀型やUFO型の形状の埴輪などの、川埜による架空の世界観は、この現実とは別の時間軸に存在するかもしれないパラレルな世界の表情を垣間見せてくれる。

<http://ryuzo3.net/>


「UFO形埴輪」 ②

河原田 謙 Kawaharada Ken

(1947年生まれ／茨城県在住)

のどかな畔道に突如乱立する、見るものを圧倒する数機の巨大ロケット。さらに敷地に並ぶ幾つもの発明品。河原田の技術力、宇宙的なアイデア、実行力、これらが相まって、唯一無二の超科学的開発研究所、ケネディー電気は成り立っている。



「ケネディー電気」1999- ③

具志堅 誉 Gushiken Homare

(1998年生まれ／神奈川県在住)

車、車、車——具志堅誉の作品は、溢れ出んばかりの車に埋め尽くされている。中古車情報誌のカラーズを駆使して制作を行う具志堅の描く風景は、人間がいなくなった後、文明の遺物たる車のスクラップが大地に根を張って、自然と一体化している——そんな未来世界の一展望を示唆するようである。



「病室から見える我が家」2013 ④

設楽 陸 Shitara Riku

(1985年生まれ/愛知県在住)

小学生の頃から授業の片手間に描き始めたという《架空の歴史ノート》。架空の文明の勃興が、登場人物たちの心情も含め、非常に濃密に記されている。現在では、ペインティングや立体作品なども制作するが、一連の創作は、ゲーム文化が表出してきたイメージの再解釈であるとも見受けられる。



「羽ばたこうとする」2015 ⑤

土屋 正彦 Tsuchiya Masahiko

(1946年生まれ/千葉県在住)

精神科病院での長い入院生活のなかで描かれた絵は、宇宙や未来の物語を雄弁に語っている。精神科病院と宇宙空間、土屋の世界の中では二つとも等価の現実であり、その創作は空想ではなく、体験談であり、宇宙的存在たちと数奇な関わりを持った彼の青春時代の記録でもある。



「はるかなる思い出」⑥

展覧会概要

タイトル 「惑星ノマ——PLANET NO-MA」

会 期 2017年9月2日(土)～11月26日(日)

会 場 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA (滋賀県近江八幡市永原町上 16)

開催時間 11:00～17:00

休館日 月曜日(祝祭日の場合は翌日休館)

入館料 一般 300円(250円) 高大生 250円(200円) 中学生以下無料

※障害のある方と付添者1名無料、()内は20名以上の団体料金

無料開館 八幡堀まつり 10月7日(土)、8日(日) 18:00～21:00(夜間特別開館時のみ)

関西文化の日 11月18日(土)、19日(日) 終日

主 催 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

社会福祉法人グロー (GLOW) ～ 生きることが光になる～

後 援 滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

協 力 アーツ千代田 3331、一般社団法人近江八幡観光物産協会、医療法人社団柏水会、ギャラリーラガルト、ケネディー電気、タネリススタジオ、社会福祉法人やまなみ会 やまなみ工房

【ボーダレス・アートミュージアム NO-MA】とは？

滋賀県近江八幡市の歴史ある重要伝統的建造物群保存地区にあり、昭和初期の町家を改築し 2004年6月に開館した、社会福祉法人グローが運営するミュージアムです。

障害のある人の表現活動の紹介にとどまらず、現代アーティストの作品と共に展示し「人の持つ普遍的な表現の力」を感じることができる企画展を開催しています。

また、「障害者と健常者」をはじめ様々なボーダー（境界）を超えていく試みを実践し、アール・ブリュットを扱うミュージアムとして国内外から注目されています。

関連イベント

(1) ライブ&トーク 吉田隆一 with 田所友香理

第一部 フリースタイルセッション「惑星から鳴る音（吉田隆一×田所友香理）」

第二部 トーク「吉田隆一、惑星ノマを語る」

第一部は“SF+フリージャズ”トリオ『blacksheep』を率いる吉田隆一さんと糸賀一雄記念賞音楽祭で大活躍の田所友香理さんのセッションを、第二部では引き続き吉田さんによる惑星ノマを巡るトークをお届けします。

日時：9月17日（日）

第一部：13:30～14:00

出演：吉田隆一（バリトンサクソ奏者）、田所友香理（打楽器）

第二部：14:15～16:00

講師：吉田隆一 / 聞き手：山田創（本展企画担当）

会場：酒遊館（滋賀県近江八幡市仲屋町中6）

定員：50名（要予約）

※参加は無料ですが、本展の観覧券（半券）が必要です。

(2) 講演「宇宙人の探し方」

天体物理学者（理学博士）、日本における地球外生命体探査活動の第一線で活動する鳴沢真也さんによる、物語や都市伝説だけでなく、本当の宇宙人の存在の可能性を巡る講演です。

日時：11月12日（日）13:30～15:00

講師：鳴沢真也（兵庫県立大学 理学博士）

会場：酒遊館（近江八幡市仲屋町中21）

定員：50名（要予約）

※参加は無料ですが、本展の観覧券（半券）が必要です。

(3) トークショー「爆笑！星のお兄さんショー in NO-MA」

ユーモアたっぷりのプラネタリウム解説が大人気の「星のお兄さん」こと、田端英樹さんの神秘的な星々を巡る爆笑トークショー。

日時：10月29日（日）18:00～19:00

会場：ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

定員：20名（要予約）

※参加は無料ですが、本展の観覧券（半券）が必要です。

(4) ギャラリートーク「惑星ノマ ナイトツアー」

ツアー添乗員（学芸員）の解説による、惑星ノマ ナイトツアー（ギャラリートーク）。「S（すこし）F（ふしぎ）」なNO-MAの旅をお楽しみください。

日 時：9月9日(土)、10月21日(土)18:30～20:00

定 員：20名（要予約）

※参加は無料ですが、本展の観覧券（半券）が必要です。

(5) 放課後NO-MAワークショップ「放課後のエイリアン」

毎週水曜日はNO-MAに集合！どんな星に住んでいるのか、どんな性格なのか、オリジナル宇宙人を考えて、作ってみましょう。

日 時：会期中毎週水曜日 15:30～16:30

会 場：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

定 員：7名(予約不要)

対 象：小中学生

参加費：無料

(6) 八幡堀まつりワークショップ「なぞの“オーミーハチマン星人”、おまつりにあはれる！！」

NO-MAの展覧会を見た後は、“オーミーハチマン星人”（グレイ型）のお面を作って、そのままお祭りにとびだそう。

日 時：10月7日（土）、8日（日）18:00～21:00

会 場：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

参加費：観覧料（予約不要）

※当日は八幡堀まつりのため18時から21時は夜間特別開館（無料）です。

イベントのご予約・お問い合わせ

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA TEL/FAX: 0748-36-5018 <http://www.no-ma.jp/>

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA 企画展

惑星ノマ——PLANET NO-MA

広報用画像申込書

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部
(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA) 広報宛
FAX : 0748-46-8228

本展覧会広報用素材として、作品画像を用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX又はメールにてお申し込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご確認ください。

- ① キャプションは、作家名、作品名、制作年、コピーライト等を必ず表記ください。
- ② 作品のトリミング、文字載せはお控えください。
- ③ 本展記事をご紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為に校正、掲載誌（紙）、DVD、CD等をお送り下さい。

媒体名：『 _____ 』

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー
ネット媒体 携帯媒体 その他 発売・放送予定日： _____

御社名： _____ ご担当者名： _____

Eメールアドレス： _____ @ _____
(〒 _____)

ご住所： _____

お電話番号： _____ FAX： _____

ご希望の図版番号に✓をおつけください。

<input type="checkbox"/>	①大原菜穂子 「菜穂子地蔵」 撮影：大西暢夫
<input type="checkbox"/>	②川埜龍三 「UFO 形埴輪」 撮影：photo by 田中くん
<input type="checkbox"/>	③河原田謙 「ケネディー電気」1999年～ 撮影：大西暢夫
<input type="checkbox"/>	④具志堅誉 「病室から見える我が家」2013年 撮影：大西暢夫
<input type="checkbox"/>	⑤設楽陸 「羽ばたこうとする」2015年 撮影：大西暢夫
<input type="checkbox"/>	⑥土屋正彦 「はるかなる思い出」 撮影：大西暢夫

プレゼント用ご招待券をご希望の場合は✓をおつけいただき、枚数をご記入ください（10枚まで）（ 枚）

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部（ボーダレス・アートミュージアムNO-MA）

担当：山田・渡邊・鈴木 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2

TEL : 0748-46-8100 FAX : 0748-46-8228 MAIL : kikaku@glow.or.jp